

# 議会

ORAMACHI

# だより



中野小学校運動会

## 平成 19 年 9 月定例会

\* 平成 18 年度決算認定される (一般会計・各特別会計)

【一般質問】 \* 5 人の議員が町の考えを問う  
(大野議員、小島議員、岩崎議員、本間議員、小沢議員)

◆可決された議案……………	3
◆決算質疑……………	4
◆一般質問……………	5 ~ 9
◆わたしのふるさと等……………	9 ~ 10



◆平成18年度決算額◆

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	85億8,843万0,573円	81億0,064万4,246円	4億8,778万6,327円
国民健康保険特別会計	26億7,454万1,649円	24億4,852万6,158円	2億2,601万5,491円
老人保健特別会計	17億7,397万8,743円	17億3,954万9,805円	3,442万8,938円
介護保険特別会計	11億4,434万4,028円	10億8,904万8,793円	5,529万5,235円
下水道事業特別会計	5億2,761万2,759円	5億0,220万2,124円	2,541万0,635円
水道事業会計	5億3,206万4,472円	5億0,054万1,500円	3,152万2,972円 (当年度純利益)

◆平成19年度補正予算◆

会計別	補正額	予算総額
一般会計	3億6,739万円	89億2,937万円
国民健康保険特別会計	1億2,516万円	27億3,806万円
老人保健特別会計	3,443万円	17億6,008万円
介護保険特別会計	5,903万円	12億7,881万円
下水道事業特別会計	1,350万円	4億3,325万円

# 平成18年度の決算を認定

## 一般会計歳出総額81億64万円 町税収入は38億4,611万円(歳入総額の44.8%)



完成した保健センター

保健センター建設事業等  
計画された事業完了

## 9月定例会

9月定例会では、平成18年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い18日の本会議で各会計ともそれぞれ認定されました。

平成18年度の一般会計決算額は、前年度と比較して歳入で3.1%減、歳出で0.1%の増と、ほぼ同程度の順調な決算となっております。このことは、厳しい経済情勢の中で堅実に予算を編成し、健全な財政運営を行なった結果と思われまます。歳入においては、町税や繰入金、繰越金などの自主財源が増加した反面、施設整備の終了にともなう国庫支出金や町債の大幅な減少が見受けられます。また、三位一体改革にともなう経過措置として、所得譲与税が新設されたことにより地方譲与税が増加した一方、地方交付税が大幅に減少しております。今後も本格的な税源移譲が実施され、町の自助努力が問われることから、徴収対策を強化し、徴収率の向上に努める必要があると思われまます。歳出においては、予算現額86億8,074万円に対し決算額は81億64万円であり、

## 可決された議案

政治倫理の確立のための邑楽町長の資産等の公開に関する条例の改正

政治倫理の確立のための国会議員の資産等の公開等に関する法律の改正に伴い町の条例も改正しました。

邑楽町税条例の改正  
邑楽町都市計画税条例の改正

地方税法等の改正に伴い関係条例を改正しました。

邑楽町農畜産物処理加工施設(あいあいセンター)を指定管理者制度に移行するため、条例を整備しました。

平成20年4月1日から、邑楽町農畜産物処理加工施設(あいあいセンター)を指定管理者制度に移行するため、条例を整備しました。

邑楽町企業誘致条例の改正  
平成20年3月31日までの施行期間を3年延長し平成

23年3月31日に改正しました。

町道の路線認定及び廃止  
轄区画整理事業等により、町道の路線認定及び廃止をしました。

〔人事案件〕  
人権擁護委員の推薦  
法務大臣から、委嘱されている人権擁護委員の内2人の任期が、平成19年12月末に満了となることから、引き続き岩崎公珍さん(秋妻)、堀越菊太郎さん(赤堀)を推薦することに同意しました。

公平委員の選任  
平成19年9月15日で任期満了となる公平委員の選任について、福地 正さん(中野)を再任することに同意しました。

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱  
平成19年9月30日で任期満了となる情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について、神谷保夫さん(太田市)、関谷勝次さん(石打)、関田きよ子さん(狸塚)を再任することに同意しました。

教育委員の任命  
平成19年9月30日で任期満了となる教育委員の任命について、加藤一枝さん(光善寺)、前田光洋さん(鶉)を再任することに同意しました。

固定資産評価審査委員の選任  
平成19年9月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員の選任について、三ツ井稔司さん(篠塚)を再任することに同意しました。

# 決算質疑

決算の主な質疑(要旨)

**Q&A** 一般会計、各特別会計の決算にあたり、一年間事業を行った行政効果など、どれだけ成果があったかを中心に、議会で質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。



**Q** 大野議員 私の調査では、町議選後3カ月過ぎて現金を配った議員がいる。収支報告書に記載はなく公選法違反の疑いがある。選挙管理委員会を開くべきだ。

**A** 選管書記長 事実ならば、報告書の修正等が必要と思うが、委員長と相談し委員会の開催を検討したい。



鞍掛第3工業団地

**Q** 立沢議員 商工業支援事業として企業誘致奨励金が出ている。鞍掛工業団地への進出の引き合いは。

**A** 都市計画課長 18年度は3社が用地を取得し、工場建設または建設を予定している。未分譲地は12ヘクタールあるが、ほぼ引き合いがきている。

**Q** 金子議員 学力向上のために、修熟度に合った町内統一テストの実施を行っているが、その成果はどうか。

**A** 教育長 郡内との比較は難しいが、年々家庭学習の定着がみえ、成果が上がっているものと考えている。

**Q** 本間議員 介護保険は、平等に受けられるのが原則だが、現実には順番まちの人もるように聞いている。町の対応は。

**A** 町長 介護の仕方もあるいろいろなが、地域密着型施設の開所予定もあるので、それらも活用し体制を整えて行きたい。



**Q** 小倉議員 実質公債費比率8・9%の邑楽町で破綻の可能性はあるか。

**A** 監査委員 大変健全な運営だと思う。民意は減税を望んでいるが、要求は無限度にある。破綻はいつするのかわからない。今後健全財政に努めてもらいたい。

# 一般質問

一般質問は、9月7日に行われました。質問には、5人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。



## 農業振興地域の除外について

**大野議員** 大規模指定既存集落内の農地除外申請と、青地の除外申請の進捗状況を尋ねたい。  
**産業振興課長** 地域整備計画の見直し作業を5年に一度行わなければならないが、その事務手続きが遅れており、新たな計画変更を県に受付けてもらうことができない状況である。

**大野議員** 5年に一度の見直し作業が遅れている理由

由で町民に迷惑をかけている。未だに2月の申請の許可がされていない。早く除外ができて、家が建つまでには、あとのくくらいかかるのか。

12月中には、  
県の許可見込み

**産業振興課長** 現在進めている地域整備計画の見直しは、9月4日に提出しているので、今月末には回答



があると思う。県から回答があれば10月より縦覧に供し、11月に入り15日間の異議申し立て期間がある。11月中旬に本協議を経て、遅くとも12月中には計画の見直しの許可を県より頂くことになる。その後、既に受付けた除外申請を県に提出していきたい。

■その他の一般質問  
・教育問題について

## 公共施設の改築について

**小島議員** 平成17年7月23日、邑楽町公民館で議員5人と某文化グループ数十人と意見交換をした時に、庁舎と多目的ホールについて尋ねられた。私は「ガラス張りの建物では、ランニングコストと居住性に問題があり、また、建設費の節約の面からも現在の公民館を大規模改築すれば新築と変わらない建物になる」と答えた。町の考えは。

**生涯学習課長** 現在の邑楽町公民館は、老朽化しホールも舞台も狭く、仮設舞台をつなぎ対応している。音響も悪く、利用者大変不便をか

けている。芸術文化活動を発展させるには、大きな課題となっており、第五次総合計画の中で、文化活動の拠点となる中央公民館の建設が計画されている。現在、公民館では知的障害者の青年学級等も開催され、高齢者・子どもたちすべての人



邑楽町公民館

が、快適に活動できる素晴らしい施設を目指している。

**小島議員** 現在、文化ホー

ル等の大きな建物の室内で文化活動が盛んにおこなわれている。平地林と緑豊かな自然、大空の見える邑楽町では、精神文化を育む素地がいろいろある。教養豊かな文化グループの人々に、野外活動を提案するが、町の考えは。

**生涯学習課長** 邑楽町には、中央公園、多々良沼公園、創造の森等多くの自然や平地林がある。子育て広場、青少年体験キャンプ、障害者青年学級での中央公園の利用や子どもまつりでの多々良沼公園の活用、自然観察教室の光善寺大犬久保の雑木林の散策などがある。現在は、自然環境保全等が大きく叫ばれている。町の自然を生かした多彩な学習や、野外での発表会、野外コンサートなどについても、議員指摘のとおり発

### 広域施設の有効活用も

**生涯学習課長** 議員が言うとおりに非常に低い利用率である。そういった中、邑楽町では両毛広域圏で施設相互利用の協定があり、館林市の市民と同じような条件で使うことができる。また、

想の転換をして、利用を指導していきたくと考えている。

**小島議員** 以前計画された

多目的ホールの建設費は15億円であった。新しい庁舎の坪単価を計算すると65万2千円となる。この坪単価で、現邑楽町公民館約452坪の大規模改築工事費を計算すると約2億9、470万円となる。以前の計画の1/5である。また、館林市の文化ホールは年間約30%の使用率で、約70%年間240日は空いている。邑楽町の町民が借りることはできないか。

## 少子化対策について

**本間議員** 少子化対策について邑楽町の支援、施策が図られている現状を聞いた。

**福祉課長** 長時間保育、一時保育、ゼロ歳児保育等の事業に取り組んでいる。18年4月から四つの児童館の開館時間延長等を行い、子育ての支援・放課後児童の対策として充実を図ってきた。これからも

さまざまな子育て支援の施策を組み合わせ、安心して子育てができるよう環境整備の充実を図ってきたい。

**本間議員** 邑楽町は、議員定数を減らしたその一助として昨年、1歳繰り上げて小学校1年生まで医療費の無料化を推進した。群馬県知事は、15歳まで医療費の無料化を公約した。県内で

ほかの施設の利用等についても希望があれば仲介等していききたい。

**生涯学習、あるいは社会**

教育の目的は、個人で学習

## 医療費無料化の拡大を

**岩崎議員** 医療費の無料化の拡大をということでお尋ねする。赤ん坊の泣き声を聞くことが少なくなつた。少子化が止まらない。17年度の出生率をみると、国が1・26、県が1・39、町が1・12である。「子どもを育てるなら邑楽町」になつていくのだろうか。子育ての環境が厳しいと、将来の町や地域の宝が増えない。そこで、これから進めようとしている少子化対策、特に子育て支援対策の重要な施策を尋ねたい。

**福祉課長** 町では少子化対策として次世代育成支援行動計画を策定、児童の健全育成と子育て環境の整備、

したことを個人にとどめず、家庭に地域に町づくりに生かしていくことである。

**生涯学習、あるいは社会**

教育の目的は、個人で学習

支援を推進している。また、乳幼児の医療費、児童手当、第3子出産祝金等の支援事業を実施し、更に保育サーピスの充実に取り組んでいく。

これからの、さまざまな施策を組み合わせ、安心して子育てができる環境整備の充実を図っていききたい。

**岩崎議員** 子育て支援でぜひ今やらなければいけない重要な施策の一つとして、医療費の無料化を拡大することがあるのではないかと。一学年、大体700万円から800万円というところであるが、県の1/2負担があれば350万円から

### 県の動向をみて

**福祉課長** 少子化対策、子育て支援にとって医療費の無料化というのは、保護者の経済的な負担を軽減するもので、財源という問題も出てくるが、充実させていかなければならない少子化対策の一つの方法である。また、県の補助が1/2という範囲があるが県の動向をみて、対象範囲、補助率等も勘案しながら対応していきたいと思っっている。

■その他の一般質問  
・生ゴミを攻めよう

### 15歳までは検討課題

生まで無料。邑楽町は、やや遅れをとっている部分があるが町長の考えは。

**町長** 今現在は、通院が3歳未満、入院が5歳未満に対し県から1/2の補助がある。1/2は町が負担している。15歳までは、もう少し検討させていただきたい。できるだけ町民の負担を少なくしていきたい。

## 今後の行政運営について

**小沢議員** 久保田町長の4年前、初当選から現在までの町政に対する思い、心意気を聞きたい。

**町長** 思い起こせば9年前私が40歳の時、邑楽町、近隣市町、東毛地域の置かれている状況等、模造紙に数字(指数等)を示した中で、

これからの邑楽町はどうあるべきか多くの地域住民と話ができただことは、素晴らしい、有意義であったと思つている。その時の熱い思いは、今も全く変わっていない。少子高齢化社会、厳しい財源、限られた予算の中で

## REST ROOM 休憩室

何も解らないままにお寺に嫁ぎ、穏やかで明るく楽しい住職に助けられて、30年あつという間に過ぎました。

お正月からいろいろな行事に一緒に参加し、そしてお墓参りに来られる檀家さん達に、心安らぐお寺だと感じてもらいたい一心で、草むしり等に動いましてまいりましたが、今ではそれ自身が、私自身のためであり楽しみになっていくと、改めて気付かされました。草花は毎年種をこぼし、くり返し美しく咲いてくれます。一番癒されているのは私でした。何事もない平凡な毎日をごせることの有り難さに気付き、感謝することができるようになりました。

世の中ではあまりにも辛すぎる事件等、悲しい思いで生きる人々の多い中で、人の心を思い遣り、我が心とすることができるようになり、毎朝自分の胸の中に繰返しかみしめていきます。苦しい時辛い時には「ご本尊様に道を聞きなさい」と自分にも子供達にも言い聞かせ、日々を送れるように心掛けています。



佐野 洋子 (藤川・16区)

## お寺に嫁いで

# 議会の動き

## 《8月》

- 8日 館林邑楽総合開発促進協議会
- 10日 邑楽町中学生国際交流事業派遣者壮行会
- 17日 全員協議会
- 21日 東毛広域幹線道路建設促進に関する要望活動
- 24日 議会運営委員会
- 27日 総務・文教常任委員会、厚生・環境常任委員会
- 28日 建設・経済常任委員会、全員協議会
- 30日 邑楽郡市町村議会議長会臨時会

## 《9月》

- 2日 邑楽町防災訓練
- 6日～19日 9月定例会  
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、全員協議会、広報委員会)
- 21日 戦没者追悼式
- 25日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 28日 太田市外三町広域清掃組合議会

## 《10月》

- 5日 議会広報委員会編集会議
- 7日 町民体育祭
- 16日 議会広報委員会校正会
- 22日 館林邑楽農業共済事務組合議会  
邑楽館林医療事務組合議会  
館林地区消防組合議会
- 30日 群馬県町村議会議員研修会

**雇用拡大に取り組む**

町長 国、政府の施策で規制緩和または農家に対する政策の転換等あり非常に厳しいが、町としてできることは取り組み、助けていきたいと思っている。また、財源の確保、雇用の増大については、工業団地への企

業誘致、町民と話し合いながら工業団地の造成などを進め雇用拡大が図れればと思う。また、町内企業と進出企業との交流など仕事の増加に寄与するよう、行政としても積極的に進めたい。



## 議会を傍聴しましょう

今回の定例会は、12月25日から27日を予定しています。

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでなたでも傍聴できます。

平成19年6月議会までの会議録は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館（長柄公民館）、勤労青少年ホーム（ヤングプラザ）に置いてありますのでご覧ください。

また、ホームページにも会議録全文を掲載しています。

詳しくは、議会事務局まで

☎88-5511（内線290）

**小沢議員** 私たち町民、特に若い人、これから増え続ける高齢者の健康への願い。また、次代を担う子育て世代のため、俗にいう箱物づくりを力をつけて来たようだが、是非、町長の考えを伺いたい。

**町長** 少子高齢化が益々進む町の人口構成を考えた時、特に必要なものは町民の健康維持増進と、子育て環境の整備ではないかと考える。議員の理解と協力を得、費用対効果も念頭に置き町の将来のため取って置けるよう取り組んでいきたい。



南保育園

ある。町内小中学校の耐震補強・大規模改造工事。広く明るく気持ちよく利用できる保健センター。午前中からの開館となつて利用者も倍増し好評の南・北児童館。静かで安全安心明るく自然とのふれあい等、子ども父親とも大喜びの南保育園。国、県の補助制度を全て活用し整備・建設してきた。

ある。町内小中学校の耐震補強・大規模改造工事。広く明るく気持ちよく利用できる保健センター。午前中からの開館となつて利用者も倍増し好評の南・北児童館。静かで安全安心明るく自然とのふれあい等、子ども父親とも大喜びの南保育園。国、県の補助制度を全て活用し整備・建設してきた。

**小沢議員** 町の人口構成の中で一番多くを占める昭和21年以降生まれのほとんどが退職し年金生活となり、いよいよ地域社会で活動（働）し、生涯を送る時代に突入した。そこで財源確保の観点から行政と商工団体、農業団体等との活発な交流・融合による新規事業の開発や、工業団地の造成

## REST ROOM 休憩室

## 古希を迎えて

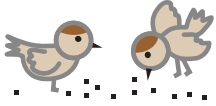


津野 久  
(光善寺・15区)

古希を迎えて過去を振り返ることが多くなりました。孫を得てあまりの可愛さに、ぶん殴って育てた我が子に、可哀想なことをしたと反省の限りです。彼ら（男二人）が小六、中三のころ、飼った犬の水飲み用の器を洗わせた時、汚れの付いたまま水を与えようとしたので、相手に対する思いやりの無さに私は激怒し、その水を子どもたちに飲ませました。妻はそれを見て涙を流していたのを覚えております。勉強は出来ませんでした。今は、相手の気持ちを思いやれる大人に育ちました。

最近では学級崩壊とか暴走行為とか、想像もつかないようなことが日常茶飯事です。故早坂茂三氏（故田中角栄氏秘書）は「若者はやりたいことはなんでもやれ、ただし最後には自分で責任を取れ」といっていました。納得。

つつい昔のことを振り返る毎日です。



# わたしのふるさと



## 【岩手県一関市】

小島 きよ子（前原・4区）



日本で一番広い県です。9月まで放送された“どんど晴れ”の舞台ともなりました。一関市は最南に位置し、西には須川岳（栗駒山）がそびえ周囲には平泉中尊寺、<sup>げんみけい</sup>厳美溪、足を伸ばすと<sup>びいびけい</sup>狛鼻溪や大船渡の魚、前沢牛が知られています。また温泉も豊富で療養に観光にと賑わっています。



<sup>おうけつ</sup>厳美溪の鴈穴

昭和23年には、台風が町を飲み込んで大勢の人たちが犠牲になりました。今でもその時の水位の印を町のあちこちで目にします。

一関市は盆地なので、町の中心街や田畑は雨や台風になると水浸しでした。今は橋や堤防が高くなり、北上川への分水場が出来て以前程でもないようです。また、ササニシキやひとめぼれの産地でもあり、特に餅文化は各地域とも盛んで御祝いごとや行事には欠かせないものとなっています。

東北道が開通してからは、郊外に市街地が広がり、大型ショッピングセンターや娯楽施設等で賑わっています。大合併もあり以前の3倍位になりました。

邑楽町に住み37年、良いところ悪いところを受け入れて孫子の時代まで、より良い環境であることを願います。源義経や藤原家四代の家臣、両親の眠る“ふるさと”への思いを寄せて。

## ◎ 編集後記 ◎

議員の仕事とは何か、議会の役割とは何か、私の理解は、一つは行政（町）から提出される各種案件のチェック機能であり、二つは行政への政策提案、提言であろうと考えます。そして、このことは、総じていえば町政は町民のためにあるわけですから、町民が主人公の行政であるべきなのである。

ですから多様な意見がある中での「町づくり」のあり方については、広く多くの皆さんとコンセンサスをとって行く、情報を公開し共有する。そして町民の皆さんと一緒に汗を流し考え、行動する協働の時代です。具体的に一つの例をとれば、町が予算案を作成するわけですが、この予算案には、町民の皆さんのアイデアや提案、意見等を生かし、反映させていくことができればいいな、町づくりをここからも変えて行かなければならないなど考えます。

この議会だよりは、全てではないが、議会や議員の広報にとどまらず「評価」の重要な情報の一つであるという認識を持って、議会活動、議員活動に精進したい。

（岩崎記）